平成23年第2回芸北広域環境施設組合議会定例会会議録

招 集 年 月 日	平成23年12月26日													
招 集 の 場 所	広島県山県郡北広島町有田 1234 番地 北広島町役場 2 階 大会議室													
議 長	藤 井 昌 之													
開閉会日時及び宣告	開 会	平成23年12月26日 午前10時00分												
	閉 会	平成23年12月26日 午前11時33分												
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>○</td> <td>出席を示す</td> </tr> <tr> <td>△</td> <td>欠席を示す</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>不応招を示す</td> </tr> <tr> <td>□</td> <td>公務欠席を示す</td> </tr> </table>	○	出席を示す	△	欠席を示す	×	不応招を示す	□	公務欠席を示す	議席	氏 名	出欠	議席	氏 名	出欠
	○	出席を示す												
	△	欠席を示す												
	×	不応招を示す												
	□	公務欠席を示す												
1	藤 井 昌 之	○	5	藤 井 勝 丸	○									
2	前 川 正 昭	○	6	加 計 雅 章	○									
3	青 原 敏 治	○	7	入 本 和 男	○									
4	中 田 節 雄	○	8	秋 田 雅 朝	○									
会議録署名議員	2番 前 川 正 昭		3番 青 原 敏 治											
地方自治法第121条の規定による説明のため出席した者の職氏名	管 理 者	竹 下 正 彦	事務局長	国 安 勝 美										
	副管理者	浜 田 一 義	所 長	児 玉 一 朗										
議 事 日 程	別紙のとおり													
会議に付した事件	議案第4号	平成22年度芸北広域環境施設組合歳入歳出決算認定について												
	議案第5号	平成23年度芸北広域環境施設組合一般会計補正予算(第1号)												
会 議 の 経 過	次のとおり													

事 項	発 言 者	発 言 の 要 旨
開 議	議 長	<p>ただ今の出席議員は8名であります。定足数に達しておりますので、これより平成23年第2回芸北広域環境施設組合議会定例会を開会いたします。</p> <p>直ちに本日の会議を開きます。</p> <p>本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。</p>
日程第1	議 長	<p>日程第1、「会議録署名議員の指名」を行います。</p> <p>本日の会議録署名議員は、会議規則第119条の規定により、議長において、2番 前川正昭君及び3番 青原敏治君を指名いたします。</p>
日程第2	議 長 議会運営委員長	<p>日程第2、「会期の決定について」を議題といたします。</p> <p>本定例会の運営については、過日、議会運営委員会を開き御協議いただいておりますので、その結果について議会運営委員長入本和男君の報告を求めます。自席にて報告をお願いいたします。</p> <p>おはようございます。それでは、議会運営委員会より御報告させていただきます。平成23年第2回定例会の運営につきましては、12月2日に議会運営委員会を開催いたしました。決定事項につきましては、報告いたします。まず、会期でございますが、本定例会に付議されております議案は、お手元に配布してあります提出議案のとおり2件でございます。よって会期は本日1日限りとしたいと思います。以上で報告を終わります。</p> <p>お諮りいたします。</p> <p>ただ今の委員長の報告のとおり、会期は、本日1日限りとすることに御異議ありませんか。</p> <p>【「異議なし」と言う者あり】</p> <p>御異議なしと認めます。よって会期は本日1日間と決定いたしました。</p>
日程第3	議 長 管 理 者	<p>日程第3、議案第4号「平成22年度芸北広域環境施設組合歳入歳出決算認定について」を議題といたします。この際、議案の朗読を省略いたします。提案理由の説明を求めます。管理者 竹下正彦君。</p> <p>それでは提案理由の説明をさせていただきます。議案第4号でございますが、地方自治法第233条第3項の規定によりまして、平成22年度一般会計歳入歳出決算の認定をお願いするものでございます。</p> <p>歳入の決算額は、7億2,102万2,628円で、歳出の方</p>

<p>管 理 者</p> <p>議 長</p> <p>事務局長</p> <p>事 務 局</p> <p>議 長</p> <p>監査委員</p>	<p>は、6億4,394万9,787円でございます。差引きの残額は、7,707万2,841円となっております。この残額のうち、6,500万円を繰越金として、23年度予算に充当しております。詳細につきましては、事務局から御説明を申し上げますので、よろしく願いをいたします。</p> <p>引き続き詳細について、事務局に説明を求めます。事務局。</p> <p>【詳細説明】</p> <p>【詳細説明】</p> <p>これで提案理由の説明を終わります。</p> <p>この際ここで、監査委員の監査報告を行います。木原監査委員。監査委員の木原と申します。本年7月に本議会でご選任いただきました。微力ではございますけれども監査を通じて芸北広域環境施設組合の健全経営や業務の発展に取り組んでまいりたいと思っておりますのでどうぞよろしく願いいたします。本日は初めての議会になりますので、ちょっと簡単に自己紹介をさせていただきます。私は安芸高田市向原町で行政書士事務所を開設しております、それまでは財務省中国財務局で30数年間、税財産行政を中心にした事務を、業務を行っておりました。現在は安芸高田市の監査委員ほか、第3セクターの監査などをさせていただいております。不慣れなためいろんなところで失礼な点があるかもしれませんが、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは監査報告をさせていただきます。お手元の提出議案の3ページに意見書を載せていただいております。これを朗読いたしまして意見とさせていただきます。平成22年度芸北広域環境施設組合歳入歳出決算審査意見書。地方自治法第233条第2項の規定により、平成22年度芸北広域環境施設組合歳入歳出決算並びに関係帳簿、証書等を審査した結果、その意見は次のとおりである。審査対象。平成22年度歳入歳出決算書並びに関係帳簿、預金証書類及びきれいセンター施設。審査期日は平成23年10月26日でございます。審査の総括的意見といたしまして、上記審査対象につき事務局より説明を受け、慎重に審査した結果、決算書の内容は正確であり真実であると認めます。財産の調査も正しく表示され、真実であると認めます。ということで、私と藤井監査委員の署名捺印をさせていただきました。それから意見ということではないんですけれども、今回の監査につきまして事務局の方にいろいろとご説明をいただきながら、ちょっと考えたところを述べさせていただきます。今までの市の監査とか第3セクタ</p>
---	---

	<p>監査委員</p>	<p>一の監査ということで経験はあるんですけども、業種といたしましてこういった環境施設の監査は初めてでございますので、いろいろ事務局の方に説明をいただきながら理解を深めているところでございます。今後問題になるのはやはり施設の老朽化、あるいはごみの処理量の推移をどのように推計し、見極めるかということが経営上の焦点となってくるのではないかと考えております。またリサイクルや収集の問題につきましても行政との連携ということをこれまで以上に密にしていくことも必要になってくるのかなと考えております。今回の監査は主に財務ということで財務計数の編成について教えていただきながら監査を終了したわけでございますけれども、今回の監査では特にご指摘するような事案はありませんでしたが、今後とも藤井監査委員と共に環境行政の一翼を担う広域環境施設組合のあるべき姿、あるいは合理的な経営ということに的を絞りながら監査を行ってまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>これをもって監査報告を終わります。</p>
	<p>議長</p>	<p>これより質疑に入ります。質疑はありませんか。8番 秋田雅朝君。</p>
	<p>8番議員</p>	<p>決算書の17ページになりますけども、委託料ですね、委託料の中の焼却炉夜間運転業務委託料というのがあったと思いますが、これは21年度と比べると大幅な増額となっているんですが、22年度の当初予算での委託料として焼却炉夜間業務委託料ほかという形で説明なり予算計上も資料1でいただいた中でも予算現額に2,536万2,792円、それから決算が2,300万ちょっとということで、あるいは指名競争入札で5社が参加したというような形で理解させてもらえばいいかと思うんですが。このことについてですね、説明をいただきたいんですが。夜間焼却炉運転業務ですね、業務の内容とどれくらいその仕事をされたとかいう説明をしていただければと思います。</p>
	<p>議長 事務局</p>	<p>ただ今の質問に対し答弁を求めます。事務局。 ではご説明させていただきます。今、先程申されました夜間の委託料、これはごみの処理施設、きれいセンターたくさんあるんですけども、その中で焼却の処理施設の業務委託でございます。ごみの操炉、炉の操作と言いますけども、焼却炉の燃焼管理、ごみを投入する仕事、クレーンでごみを投入する仕事、それから、処理機械をコントロールしながらごみを燃やしていく仕事、そういった仕事を委託しております。21年度までは時間がですね、</p>

	<p>事務局</p>	<p>夜間、深夜のみの委託でした。時間帯で言いますと10時15分から翌朝の7時15分までですね。その時間を委託しておりました。22年度、職員が2名減りました。職員が2名減ったんですけども退職者を補充する代わりにその業務委託の時間を拡大しました。したがって、今現在もそうなんですけれども夕方5時から翌朝8時45分までの約16時間の時間を炉のそういう委託の専門業者の方に委託しております。ごみを燃やす時間というのは月曜日から金曜日までです。ですから、月曜の夜から入られて土曜日の朝終わるということになっております。それから炉の補修時等ごみが多い時、今のような年末のこういう多い時期は日曜日も出て出勤していただいております。そういった年間休日も約17日も含めてこの委託料の方に入っております。そういった形ですので、この金額が違っている原因は時間の拡大を行ったことでございます。以上でございます。</p>
	<p>議長 8番議員</p>	<p>以上で答弁を終わります。秋田雅朝君。 説明の方はしていただいて理解いたしました。</p>
	<p>議長 事務局</p>	<p>だから職員を2名退職していただいて、それで業務の方を委託で時間を引き延ばしてやっていただいたということで。だから委託料としてはどうしても決算の方に出ていますが増額になっていますよね。これは効果としたら人を減らして委託でやってもその物件費ですか、物件費の方が上がるというのは効果としては、それはいたしかたない、それでも効果はあるんだというふうな理解をさせてもらっても良いでしょうか。</p>
		<p>答弁を求めます。事務局。 おっしゃるようになりますね、費用対効果は大変大切なことですので。この業務委託を導入する前にですね、実際に職員を雇った方が良いのか、あるいはそういう専門会社に委託した方が良いのか費用対効果を計算しました。そうしましたら職員を雇うとですね、やはり生涯賃金がかかなり高いベースになるんですけれども、委託会社に委託した場合はもうほとんど賃金的にはフラットですね。ベースアップもなく、今大体5人でやっていただいているんですけれども、職員5人雇うという計算とそれから委託会社の計算というのは、5年から10年後に逆転する計算でした。もちろん、職員の方、最初に雇う職員の方は、初任給すごく低いですから実際は職員の方が安いんですが、10年で逆転するという形になりました。それからもうひとつ業務委託を導入した理由というのは、職員の安全管理の面もでございます。毎日夜出て次また朝とかです</p>

事務局	<p>ね、かなり不規則な勤務をしておりました。職員の場合は、ごみの焼却施設だけではなくて、粗大ごみの施設、ストックヤードの施設、計量とかいろいろな仕事をしながら、夜勤の仕事もしながらということでございました。そういったところで時間外労働もかなり、月60時間を超える職員が出た時もございます。そういった面から、職員の安全面からこういった委託の方が、コストも安全面に対してもメリットがあるということで導入させていただいております。以上です。</p>
議長 8番議員	<p>以上で答弁を終わります。秋田雅朝君。</p> <p>大体わかりました。それで今年度の当初予算の方でもこれは計上されていると思うんですね、予算の方へ。それも23年度のことになりますけれども、当初予算としてはこの予算資料では金額をいただいているんですが、22年度と同じ決算額くらいの経費になると判断してよろしいでしょうか。</p>
議長 事務局長	<p>答弁を求めます。事務局。</p> <p>23年度も同じ内容の業務委託内容になりますので、金額は委託料は一緒になります。</p> <p>それとあの、22年度にですね、委託業務につきましては入札を行っております。先程も説明がありましたように時間の延長ですね、当初は9時間に対して、22年度からは15時間45分という委託時間になります。その関係で時間の変更による入札を行いまして、この契約につきましては長期継続契約になりますので、3年間ほど同じ金額で見込んでおります。以上でございます。</p>
議長 4番議員	<p>以上で答弁を終わります。ほかに質疑はありませんか。</p> <p>4番中田節雄君。</p> <p>2点ほどお聞かせ下さい。15ページのところで衛生費の中のところで、薬品代の説明があったんですが、ちょっと早くて聞き取れなかったので詳細をちょっとお聞かせ下さい。それとですね、19ページのところなんですが、衛生費の中で19ページの18節ですね、塵芥収集車1台700万円近いものですが、入札でかなり安くはなっておるんですが、現在車両が6台ということで耐用年数がどれくらいなのか、今の6台のどれくらいの年数を経ているのか、昨年廃車が1台あったということなんですが、何年くらいで廃車をされたのかということをお伺いします。</p>
議長 事務局長	<p>ただ今の質問に対して答弁を求めます。事務局。</p> <p>それでは薬品代につきまして御説明させていただくんですが、種類になりますけれども、消石灰とかいう工業薬品をかな</p>

	事務局長	り使っております。排ガス関係の除去関係ですね。そちらの方で消石灰とかそれとか、ろ布に付着するのを防ぐための工業薬品があります。それから排水処理関係の水処理に関するような凝集剤関係の薬品等がございます。そういった経費でもって決算を上げておるわけなんですけど、詳細につきましては内訳それぞれが必要になってきましようか。
	議 長	中田節雄君。
	4 番議員	830万、820万近いお金ですからね。いったいどういった薬品があるのかということと、金額的にですね、高価な薬品が随分とあるのかなという思いがしました。詳細については結構です。
	議 長	引き続き答弁を求めます。事務局。
	事 務 局	先程の薬品の補足説明でございますけれども、単価的にはキロ当たり40円、50円というものが多いんですが、量がかなり多い物がございます。例えば消石灰というものがございます。月に大体10tくらい使います。消石灰。これは排ガスに消石灰を吹き込むことによって、排ガス中の塩素分・ダイオキシソ類を除去する効果がございます。そういう消石灰。それからあときれいセンター内に出る汚水を処理するために、苛性ソーダですとか、ポリ塩化アルミニウムという特殊な薬品でもないですけどもそういった水処理薬品、こういったもの。それから、単価的に一番高いのはですね、配管内の腐食を防止するための防錆剤、さび止めのような薬があるんですが、これはキロ600円くらいします。これが年間100万、200万ぐらいかかりますけれども。単価的には安いんですが、量をたくさん使用する薬品がございます。薬品の方、そういったことで説明を終わらせていただきまして、次に車両の方ですけれども、大体きれいセンター購入の周期ですけれども、今、このパッカー車の時に交換した車両というのは平成9年式の車でございます。ですからもう13年程度使っていた車です。この車は旧甲田町さんから購入した車でございます。甲田町さんが組合に入られる時にその車両が必要ないということでしたので、それを購入したものです。大体普通減価償却6年ぐらいいかなんですけれども、組合では大体10年くらい、使うような形になっております。今ある最も古い車はダンプカーなんですけれども、それは平成8年、今収集で使っている一番古い車は平成8年のダンプカーがでございます。ですからもう15年くらい経過しております。これは来年度の予算で是非購入したいと思っております。それからパッカー車で今一番古いのは平成14

<p>事務局</p>	<p>年式のパッカー車がございます。これも今9年くらい経過しておりますので、距離数も、もう30万キロ程度の物になっておりますので。目安といたしましては、補修費がかかってきます。だんだん年式が古くなりますと補修費がかかってきます。22年度に購入した買い替えの車もですね、その前の年、50万、60万という補修費がかかってきておりました。そういう補修費がだんだん高くなってくる前に計画的に購入していきたい。それが結局経費の削減になると思って、計画的に収集車をこういう形で購入させていただきました。以上です。</p>
<p>議長 4番議員</p>	<p>以上で答弁を終わります。中田節雄君。 今のパッカー車、車両関係ですが、補修費が高くなるということになると、今の6台あるという中で、大体古いものもあるようですが、年次的な計画というのはございましたらお願いします。</p>
<p>議長 事務局</p>	<p>答弁を求めます。事務局。 今後毎年ですね、パッカー車の方は、来年度は一応ダンプカー、ビンを収集するダンプカーを1台、そのあとずっと毎年1台ずつパッカー車の購入という形になると思います。以上です。</p>
<p>議長 4番議員</p>	<p>以上で答弁を終わります。中田節雄君。 また元に返るんですが、先程薬品ですね、消石灰は何に使われると言われましたかね。月に10トンといいますとかなりのものになってまいりますから。それらがまた新たなごみとして残ってくるのかどうなのか。消えていくものではないと思うんですが、そういったところが私もちょっと理解できないところがありますので説明をお願いします。</p>
<p>議長 事務局</p>	<p>答弁を求めます。事務局。 先程の消石灰、詳しく申しますと消石灰のうち5%は活性炭が入っております。その消石灰は常時焼却炉の煙突に行く途中の経路に消石灰を常時吹き込んでおります。1時間当たり10キロ、20キロずっと吹き込んでおります。したがって、おっしゃるようにその消石灰は塩化水素と反応した反応物が集塵灰として堆積します。その集塵灰は1週間に大体1回くらい出していますね。もちろん消石灰と使用した量と同じ量が出てくることとなります。それを現在は山口県にあります山口エコテックの方でセメント原料にリサイクルということで行っております。したがって、確かにおっしゃるように消石灰の量を少なくすればするほど集塵灰の資源化委託料は減るということもありますけれども、安全環境基準からみますと常時その消石灰を吹き込むということ</p>

事務局	<p>は必須の条件でございますので。そのあたり確におっしゃるよう にコントロールしながら運転を進めていきたいと思ひます。 以上です。</p>
<p>議長 4番議員</p>	<p>以上で答弁を終わります。中田節雄君。</p> <p>もう1点ほどお願いします。かなりの資料なんでなかなか分析 ができないんですが、ごみの減量化、リサイクルの推進というこ とで、先程の消石灰についても最後は集塵灰として山口の方でコ ンクリートの原料として再生されるということでこれは良いんで すが、減量化については発泡スチロールや牛乳パックについては 各スーパーとかそういうところでも集めておりますし、新聞とか アルミ缶についても各自治体でもそうした補助制度をとってやっ ておりますので。また対価を得て行ふ資源化について新聞とかそ ういった類はだんだん減少傾向にあるもんだと思っております。 また今のきれいセンターへの持込みの件数もですね、だんだん減 少傾向にあるということですが、これはこれで計画通りにいつて いるものと解釈してよかろうと思ひますが。かえって今の日 曜日の開場について、まだ周知されていない部分もあるし、初め ての利用が52%あるということですから、その辺の周知徹底方 法を含めながらコマーシャルしていかないといけないということ と、かえって今の粗大ごみとかそういったことについて不法投棄 の現状というのは、不法投棄の持込というのがどこかにあったと 思ひますが、ちょっとよう見んのんですが、その辺が増加傾向 にあるのかどうか併せてお伺ひします。</p>
<p>議長 事務局</p>	<p>答弁を求めます。事務局。</p> <p>そうですね、資源化の状況、新聞雑誌は確かに減ってきており ますし、店頭での回収というのも行われております。計画通りか どうかというところなんですけれども、当初申しましたごみの減 量化の計画、33年度が最終目標なんですけれども、22年度の 目標もでございます。その中で家庭系のごみの減量は22年度の目 標値を上回っております。ただし、事業系のごみは22年度の目 標が達成できておりません。ですから事業系のごみは減らさなく てはいけません。それから、リサイクル率の方も22年度の目標が 30%なんですけれども、その目標は達成できていないという状 況でございます。</p> <p>不法投棄でございますけれども最近きれいセンターに持込みが 減っているというのは最近良く途中、原っぱで回収されている部 分があります。それも少しは影響があるのかなと思ひます。た</p>

事務局	<p>だ23年度はごみは若干増えております。22年度に比べて23年度は増えておりますので、ごみの状況というのは微妙なところでございます。不法投棄につきましては、昨年は多い状況ではございましたけれども、結局不法投棄を22年度は不法投棄のパトロール、回収ということで市町で独自にいろいろしてらっしゃったので回収量が増えているんですけども、逆に不法投棄を回収しなければ不法投棄自体はあっても量はあがってこないという面がございますので、そのあたりの実態というのは少しつかめてはおりません。</p> <p>あと日曜開場につきましては、前は日曜開場を決定したのが3月の終わり頃でしたのでなかなか周知の機会が図られませんでした。今回はこの議会で御了承をいただければ、皆さんにお配りするごみのカレンダーには日曜開場の日にちを書くことはできます。各戸配布することもできます。それから安芸高田市さんとか事前に有線放送とかです、PRしていただいているということもございますので、そのあたりも含めたPRも確かに強化していきたいと思っております。最近では組合のホームページの方を良く御覧になる方もいらっしゃいますので、ホームページを見て日曜日が開いているのを知って来ましたという方もアンケートを取る時に2、3人は毎回2、3人くらいはいらっしゃいました。以上です。</p>
議長	<p>以上で答弁を終わります。ほかに質疑はありませんか。</p>
7番議員	<p>7番 入本和男君。</p> <p>先に監査の方に申し上げますけど、折角今回謙虚に初めてというかたちで説明されましたけれどもやはり意見としては、施設の問題、ごみの問題、収集の連携等、財政合理化という問題を発言されたわけですが、今後こういう記述をですね、引用していただきまして、やはり監査意見としては経営の合理化に向けて精査内容が明確にわかるような。ただ失礼な言い方ですけど、これですと地域で会計されておる方の一般的な報告書のような形でありますので、今後は総括意見でも具体的にやはり意見をいただければ今後の我々の調査、又は施策に活かされると思っておりますので、今回要望しておきます。</p> <p>それでは質問に入らせていただきます。先程申されました不法投棄の問題ですけど、民間は無料で回収しておるという問題がありますよね。それで民間というのは露天商みたいな形での回収ですよね。これらの流れというものをどの程度調査されておるか、あれは無料で引き取ったものが金になるからしておるわけであっ</p>

	<p>7 番議員</p> <p>議 長</p> <p>事 務 局</p>	<p>て、物は今のようにリサイクルで売って、取れない部分が、扱えない部分がありますけど、扱えない分については組合へ持ってくると不法投棄分の合計 103 件についての処理料が発生していると思うんですよね。だけど、それを今のような露天商という言い方かどうか私もわかりませんが、期間限定でやられるところにお持ちいただく方が無料で処理料がいらぬという発想が原点になります。この不法投棄についての組合としての考えはどのようにお考えでしょうか。</p> <p>ただ今の質問に対して答弁を求めます。事務局。</p> <p>先程の恐らくテレビとか冷蔵庫とかエアコンとかという物、原っぱでたくさん野積みになっている状態がありますけども、それをご覧になってのことだと思えますけれども、今各地でもそれは問題になっております。一つは原っぱにそういうものを置いていいのかということと、一応無料とは書いてあるんだけども持って行ったらお金を取られたという方も何人かいらっしゃいます。そうすると廃棄物処理法の違反になります。それからその行き先についてはですね、こちらの方は把握しておりません。もちろんきれいセンターで資源化するもの、きれいセンターで委託しているものについては職員が必ず一年に一回は行って、資源化状況の確認をしております。したがって、ちゃんとリサイクルできるかどうかという面では、問題の部分があるのではないかと思います。あと法律的にもですね、非常にグレーな部分です。無料の場合はいいんですけれどもお金を取るということになりますと廃棄物処理法の違反になります。また古物商の許可を取っているところがございまして、古物商の許可は店舗に対して出しているものであって、原っぱについて出してないという公安委員会さんの方の見解もございまして、非常にグレーな部分で今後そのあたりは県の方とも協議して取り締まるべきなのか、指導するべきなのかというところを今、市町さんの担当者の方ともそういった形で協議している状況です。私どもの方でもできるだけ今お金になる物のはお金にしようということで取組をしております。粗大ごみの中で電子基盤がございまして。ファックスとかですね、電話のプリンターには CPU とかコンピューターの基盤があるんですけどもそれが物によったら 1 枚 2、3 百円で売れたりするものもございまして。今そういうレアメタルの回収ということを国の方も進めておまして来年度からそういったレアメタルの回収の仕組みというのもできると思います。組合の方でも今、例えばそうい</p>
--	--------------------------------------	---

事務局	<p>ったテープレコーダーとかばらしてですね、いろいろな資源化できるような形で何とかお金になるようにということも考えてはおります。以上です。</p>
議長	<p>以上で答弁を終わります。 暫時休憩いたします。</p>
	<p>【暫時休憩中】</p>
議長	<p>休憩を閉じて、会議を再開いたします。 先程の入本議員の要望に対し、木原監査委員から御意見として答弁をいただきます。木原監査委員。</p>
監査委員	<p>先程の御意見の中で審査の総括意見の中では、こういった通り一遍のことではなく、具体的なことについても触れておいた方がよいという御意見をいただきました。今回私の方で監査しました時には、具体的にここをこうの方がよいというところまでつかめませんでしたので、概括的な意見として申し上げましたけれども、今後そのようなところも監査の中に入れて、きちんとしたこういった意見が出せるようにしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
議長 7番議員	<p>以上で答弁を終わります。入本和男君。 不法投棄に書いてある処分料ですよね。ここの具体的に書いてある分と書いて無い分が決算書にあるんですが、不法投棄処分で総額どのくらいかかったんでしょうかね。</p>
議長 事務局長	<p>答弁を求めます。事務局。 料金でございますけども、不法投棄分の家電関係ですね、こちらの方はテレビ、冷蔵庫、洗濯機とかあるわけなんですけども。テレビに至ってはリサイクル料金ですね、こちらの方は大小それぞれ料金になっております。それから冷蔵庫については大体リサイクル料金が4,800円位になろうかと。それプラスの消費税です。こういった経費については組合でもって、リサイクルの指定回収地区があるんですが、これについては三次の方にありますけどもそちらの方へ運んで行っております。それで決算書の方にも資源化委託料ですね、不法投棄による特定家庭用機器の資源化委託料いうものを上げております。これにプラス、こちらの組合の方で、郵便局の方でリサイクル券を買いますので、そちらの方の経費が振込手数料として別途必要となってきます。こちらの方が、12節の方に記載はしておりますけども、振込手数料が、1,560円となっております。合わせて額の方は行政報告の方で合計金額を上げております。以上でございます。</p>

<p>議 長 7 番議員 議 長 事 務 局</p>	<p>以上で答弁を終わります。入本和男君。 合計金額を教えてください。 答弁を求めます。事務局。 決算書の方にですね、直接の費用、不法投棄で持ち込まれた方の金額、決算書の方で12節と13節にそれぞれございますが、17ページです。決算書の17ページの方をご覧ください。17ページのまず12節の方、まず振込手数料が1,560円とそれから不法投棄による特定家庭用機器資源化委託料が中ほどにありますけど43,459円、それを足したものがですね、29ページの行政報告書の方に書いてございます。29ページの45,019円ですね。これはあくまでテレビや冷蔵庫、エアコンを指定の引取り場所、三次に持って行った時にかかるリサイクルの料金ですけれども、実際的なコストというのはそこへ持って行くまでの運搬経費でありますとか、不法投棄品についてはですね、かなり壊れていまして、リサイクルできないものがございます。そういった物は組合の方で破砕物、粗大物としてですね、破砕処理を行ったりしますので、そういった経費も含めますとまたかなりの経費になると思われま。以上です。</p>
<p>議 長 7 番議員</p>	<p>以上で答弁を終わります。入本和男君。 金額を聞いておるんですよ。相当額とかうんぬんではなしに、ここに不法投棄分で103件ありますけど、これは業者の引取り場所へ運搬し、引き渡しましたと書いてあるわけですが、これに係わる費用は総額でいくらですかということをお聞きしておるんです。</p>
<p>議 長 事 務 局 長</p>	<p>答弁を求めます。事務局。 先程も説明をしましたように行政報告の29ページの方をちょっと見ていただきたいんですけれども。こちらの方に資源化状況という表がございますけどもこの中に逆有償という下の欄がありますけども、その中間にですね、特定家庭用機器0.92tというふうに書いてあります。先ほども言いました振込手数料等々合計なんですけれども、こちらの方が45,019円ほどかかっておりますということでございます。以上です。</p>
<p>議 長 7 番議員</p>	<p>答弁を終わります。入本和男君。 そうするとこの金額をみると103件だったら大体40万円位かかる数字、40万か50万くらいかかる数字になるかと思うんですが、不法投棄した方が安くつくような判断にするわけですが、この103件については45,000円で済んでおるといふふうに解釈してよろしいわけでございますか。</p>

議 長 事務局長	<p>答弁を求めます。事務局。</p> <p>103件の中にいろんな家電関係があるわけでございますけども、主には状況からみてですね、冷蔵庫関係といったものを上げた金額が45,019円というふうに御理解いただきたいと思えます。そのほかにつきましては、家電4品目については50%、60%のリサイクル率でもって処理をなささい、ということがありますので、そういったリサイクル協会の方へ出しておるわけなんですけども。先程所長の方も言いましたように不法投棄の回収した家電につきましてはかなり腐敗したり壊れたりしておるようなものが多いです。そういったものはリサイクルの回収場所に持って行っても引き取ってくれないというものがあります。ですから、そういったものについては組合の粗大ごみ処理施設の方で処理をさせてもらっておるわけなんですけども。こちらについては破碎したごみについてはリサイクル関係、回収金属関係は選別で取り除いております。組合自体でそういった金属類についてはリサイクルを行っております。ガラスくずなんかも出てきますけどもこういったものもリサイクルルートをもつて資源化を行っております。これは道路の路盤材とかいろいろありますけども。そういったものもリサイクル関係に出しておるといった状況であります。以上です。</p>
議 長 7番議員	<p>以上で答弁を終わります。入本和男君。</p> <p>視点を変えますが、行政報告の29ページに乾電池、蛍光灯が逆有償になっておりますけども、商店名、企業名を出していかどうかわかりませんが、これは無料で引き取る〇〇とかありますよね。〇〇さんは玄関に乾電池とか蛍光管を無料で引き取りますと、引き取りますいうよりか置いてありますよね。やはりそういう民間と組合がですね、共有すればこの蛍光灯とか乾電池はですね、これは店の方に持って来てもらったら困る言われるかもわかりませんが、なんらかの形でやっぱり〇〇さんなんかでもそういった関係をやっておられるということになりますと、こういうものを組合と民間がですね、共有すればですね、ここの金額が消えて、全く消えるとは言いませんが、減額になると思えます。そういう発想はされたことがあるのか、今後の考えをお聞きします。</p>
議 長 事務局	<p>答弁を求めます。事務局。</p> <p>おっしゃるとおりです。組合が収集するのではなくて、そういう民間のルートがある場合は民間のルートをできるだけ活用した</p>

	事務局	<p>形で出来たらなと思います。ただ今は物が限定的です。これも会社名出すのもあれなんですけれども、例えば〇〇さんとかは新しい電気製品を買えばそれと同じ古い製品を引き取るという商売形態をしてらっしゃるところもあります。そういった流れをですね、確かに全部作っていけば、結局は組合で収集することもいない。買ったところに古いものを持って行く。今、消火器、バッテリーはそうですね。ホームセンターさん、〇〇さん、〇〇さんはバッテリーを買えば古いバッテリーは引き取ってくれます。消火器もそうですね。新しい消火器を1本買えば古い消火器を1本買い取ってくれる。だからそういうところにおっしゃるようにコストメリットを考えたらですね、もっとお願いをするなり、こちらでも状況を整理しながら進めていきたいことは確かでございます。ただ全部の品目に対してそれができれば理想ですけどそれができないので、ある一部分につきまして少しずつ進めていければと思います。以上です。</p>
	<p>議長 7番議員</p>	<p>以上で答弁を終わります。入本和男君。</p> <p>逆有償でございますので是非こういう活動はですね、市と町が連携をしてですね、啓発運動をしてですね、あるいは今後の金額が5,400万ですか、これだけのものが目標値に向かっていくということが大事かと思っておりますので。その点の啓発、また民間もそういうふうにされるということは、民間の方もそれだけのメリットがあると思っておりますので、今後の啓発方法を考えていただきたいと思っております。</p> <p>次に移ります。資料の3ページでございますが、不用額を出されたことは非常に結構なことでございますけども、身近で一番わかりやすいのは、私は軽自動車だと思うんです。129万円の物がですね、44万5千円も安くなるというこの当初の見積りの仕方。それを考えますと全体の見積りの取り方、やはりこれはすべて予算の方に来て、このたびの不用額が出たことは好ましいことでございますが。予算のあまりにも、たて方と言うんですかね、見積もり方というのが余りにも安易な気がするんですが。本当にその129万円の物が84万円で買えるのかどうか。そのあたりが一般市民とすればですね、ちょっと考えられない数字。まあ前回から競争入札、指名競争入札等導入されて効果が出ておるのは非常に結構なことですけど、当初の予算が余りにも甘いと思いますが、その点について事務局の考えをお伺いします。</p> <p>議長 答弁を求めます。事務局。</p>

	事務局長	<p>いろいろ軽トラック、車関係も含めてですね、いろいろな各機器の補修整備関係につきましてもいろいろとそういう業者の方から見積りを出してもらってそれを予算化しておるわけなんですございます。軽トラックにつきましてもですね、一応何社から見積りを取りまして、特殊な仕様になっておりますが、幌付きの軽トラックですよ、そういう関係でそれプラスの4輪駆動車ということでいろいろ特殊な仕様にしております。そういった関係で見積りについてはそういう金額で上がっておりますので、それを予算化しておるわけなんですけども。こちらの方の入札関係なんですけど、6社ほどで行っておるわけなんですけど、やはり車関係になりますとそこらあたりの競争が激しいのかなというようなことで結果的には84万くらいですね。そちらの方の金額で入札されたわけなんですけども。これが入札結果によるものでございますので、また予算計上につきましても2社くらいから取っておりますので、この辺がこちらの方としてもどうこういうものがございませんので、御理解いただきたいと思っております。以上です。</p>
	議長 7番議員	<p>以上で答弁を終わります。入本和男君。</p> <p>私は不用額が悪いと言うとるわけじゃないんですよ。財政が厳しい折にですね、やはりもう少し正確な予算をたてられるように。2社でも、ごみの焼却炉修繕なんかでも談合がないからこういう数字が出ておるから非常に結構なことだと思うんですが。やはり予算を見積もる時にはですね、負担金と補助金で成り立っておる町と市の運営になっておるわけでございますので、そのあたりの予算の設定の仕方をもう少し工夫してもらい、今後の課題にしていただきたいというふうに思います。</p>
	議長 管理者	<p>ただ今の質問に答弁を求めます。竹下管理者。</p> <p>予算編成を行って、議会に予算案を提出するわけでありましてけれども、今入本議員が非常に見積りが甘い、ずさんな予算になっているという御発言がありましたので、私の方から予算編成の考え方につきまして答弁をしておきます。個々の予定価格の算定につきましては、予算案として編成する以上一定の合理的な根拠を持った数字を積み上げて予算案を編成していきます。したがって、一定の工事、あるいは諸物品の購入につきましても事務局が答弁しましたように、通常の見積りの価格等々を取りながらですね、予算の根拠としてやっております。普通の工事費につきましてもですね、積算をしながらですね、一定の工事費を予算として決めていきます。その際に結果として、入札等々の手続をしてですね、</p>

<p>管 理 者</p> <p>議 長</p> <p>7 番議員</p>	<p>実際に実行する執行額というものは変わってきます。そういうことをいれてやっておりますので余って余ってですね、多めに見積もった予算案を出していると、そういうことは決してありませんので、御理解をいただきたいというふうに思います。</p> <p>以上で答弁を終わります。入本和男君。</p> <p>私は不用額については別段問題はないと。ただ、今指摘したようにですね、一般から考えるとそういう軽自動車をみた時にですね、こういう金額はなかなか出ないと。それからしいて言えばその3ページを見るのにですね、決算額と不用額が全く、不用額の方が多という、それからごみのクレーン整備にしてもですね、全く半分で済むという、6社、9社の中であったという中でですね、そういうことがありますので、極端なところがありますので、今後の参考にさせていただきたいということで、私が全く根拠なしにこの数字は、だれもが予算をする時にですね、どこかの会社からやられるわけですが、やはりそういうことが少ない方がより正確な、不用額がなるべく出さない方が有効的な活用に行けるから申し上げたわけですし、この件については終わりますが、そういうちょっと今回の不用額については、非常にありがたい半面、予算でもう少し精査されることがあるのではなかろうかと思いましたので、発言をさせていただきました。</p> <p>それと今後の資料の中にですね、先程から出ておりますように18年から33年に向けてですね、ごみの減量とかいう計画がございますですね。やはり33年に向けて現在はここですよ、というような、今年は5%、7%という数字が出ておりますけど、やはり目標を達成するためにはですね、33年度に向けての、私はシミュレーションをしたグラフが必要だというふうに思いますし、そうすることによって、やはり市民の協力を求める、燃えるごみでもですね、現在週2回御足労をいただいておりますが、中には週1回でも良いところがあるのではないかなというような、失礼な言い方になるかも知れませんが、限界集落的なところはですね。ごみも非常に少なくなって、人口減で少なくなっているところもあろうかと思うんですよ。そういう所は1袋、2袋集めるために週2回行くよりかですね、週に1回にしてですね、経費コストを削減とかいう、やはり日報にもそういう収集のきめ細かな、今からの財政が厳しくなる中でですね、そういうことも貴重かと思いますが、その点について事務局の方から答弁がありましたらお願いしたいと思います。</p>
--------------------------------------	---

閉 議	議 長 事務局長 議 長	<p>引き続き詳細について、事務局に説明を求めます。事務局。</p> <p>【詳細説明】</p> <p>これをもって提案理由の説明を終わり、これより質疑に入ります。質疑はありませんか。</p> <p>【「なし」と言う者あり】</p> <p>質疑なしと認め、これをもって質疑を終結いたします。これより討論に入ります。討論はありませんか。</p> <p>【「なし」と言う者あり】</p> <p>討論なしと認め、これをもって討論を終結いたします。これより、議案第5号「平成23年度芸北広域環境施設組合一般会計補正予算（第1号）」を起立により採決いたします。本案は原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。</p> <p>【賛成者起立】</p> <p>起立全員であります。したがって本案は原案のとおり可決されました。</p>
	議 長	<p>以上で本定例会に付議された事件の審議はすべて終了いたしました。</p> <p>これをもって「平成23年第2回芸北広域環境施設組合議会定例会」を閉会いたします。</p> <p>大変御苦勞様でございました。</p>